白バラ牛乳
大山乳業農業協同組合

酪農だより

Vol. 731
令和４年12月号

あなたへ贈る「白の一滴、心の一滴」ー酪農家の心を食卓へー

みるく館のイルミネーション点灯中

特集
- 酪農だより編集委員が選ぶ
- 今年の組合ニュース
- 大山乳業今年の出来事2022

指導課通信

大山乳業農協からのお知らせ

編集委員が選ぶ 2022年 今年のニュース

Daiyu-PICKUP!
鳥取県の酪農関係者を代表して
大山乳業よりメッセージ動画を公開しました

牛乳消費メッセージ動画公開

酪農だより 第721号

全国的に生乳廃棄のおそれが生じた1月。春休みに入る3月末に再び生乳が余ることを危惧し、組合関係者がリレー方式で1つのメッセージを呼びかける動画を作成しました。

オンライン工場見学動画公開

酪農だより 第721号

Daiyu-PICKUP!
どこでも白バラ工場見学
オンライン工場見学動画を作成しました

長引く新型コロナ感染症の影響で中止を余儀なくされている工場見学の再開を希望するお客様の声に応え、工場見学動画を作成しました。7月には工場見学も再開しました。

酪農だより 第722号

プレミアムアイスリニューアル

約5年ぶりにリニューアルした大山乳業のプレミアムアイスは、「ミルクファースト」をコンセプトにした白バラプレミアム ミルクをはじめとした商品が発売し、ミルク、いちご、ブルーベリー&クリームチーズは今年度の鳥取県特産品コンテストで部門最優秀賞を受賞しました。

ホームページリニューアル

酪農だより 第724号

6月1日に大山乳業の公式ホームページがリニューアルしました。「白バラ物語」をテーマに酪農専門農協として組合に関わる多くの人の想いを紹介しています。

9月にはオンラインストアもリニューアルしました。

<今年の振り返り>

コロナ禍3年目となった2022年は自粛から徐々に制限が緩和され、イベントなども再開の動きが見られました。一方、ロシアによるウクライナ侵攻に端を発した資源価格の高騰や急速な円安進行により、あらゆるモノの価格は高騰し続け、今もなお酪農生産の現場や牛乳・乳製品の製造販売に大きな影響を及ぼしています。

さて、私達酪農だより編集委員は今年も大山乳業で起きた様々な出来事を追い続けてきました。

2022年の壬寅は「新しく生まれたものが大きく成長する年」と言われています。

大山乳業農協では、7年ぶりとなるチーズの製造再開や組合ホームページの全面リニューアル、製造技術体験発表会4連覇など、組合に元気を届けるような明るい話題もありました。

様々な事が動き始めた1年はもうすぐ終わり、新たな幕開けを迎えます。新飼料用倉庫もいよいよ完成が近づいてきました。来年は組合にとって、大きな一歩を踏み出す年になることを願っています。

◆その他の主な出来事

3月
- 第55回通常総会開催
- 東京営業所移転

4月
- 「白バラプレミアムブルーベリー&クリームチーズ」完成報告（琴浦町長）

- 鳥取県庁訪問「飼料高騰にかかる経営安定対策の強化に関する緊急要請」

平井知事表敬訪問

酪農だより
第726号

6月の牛乳月間に合わせ平井知事を訪問しました。今年は2年ぶりに組合員さんも一緒に訪問しました。

チーズ発売

酪農だより
第728号

7年越しに再参入したチーズ事業。「ピュアなチーズ」をテーマに現在はクリームチーズ、カチョカバロチーズ、スティックチーズが販売されています。

Twitterアカウントフォロワー2万人達成

大山乳業ではSNSに力を入れており、Twitter では4月にフォロワー2万人を達成しました。現在は2.8万人のフォロワーを獲得し今後もSNS広報に力を入れていきます。

酪農だより
第725号

中国生乳販連良質生乳出荷者表彰伝達式

酪農だより
第727号

受賞者の半数以上を鳥取県の生産者が占め、ホルスタイン部門で組合生産者17名が受賞しました。県外からも鳥取県の乳質を評価する声が寄せられました。

酪農だより
第730号

令和4年度製造技術体験発表会4連覇達成

全国農協乳業協会が主催する製造技術体験発表会が開催され、製造管理課チーム「Amazing」が最優秀賞を受賞し、4連覇を達成しました。

酪農だより
第728号

秋葉原ミルクスタンドで組合商品販売開始

秋葉原駅で「牛乳の聖地」と呼ばれている秋葉原ミルクスタンドで大山乳業の牛乳、カフェオ・レ、フルーツオ・レの180ml瓶の販売がスタートしました。関東エリアの白バラファンにも好評です。

5月
- 飼料倉庫新築工事地鎮祭
- 令和4年度白バラ認証巡回審査が開始

6月
- 京都生協「初夏の鳥取フェア」牛乳無料配布

8月
- 市乳ブリック2号充填機起動式

9月
- 「りんごとおいものクリーム大福」販売イベント

10月
- 京都営業所が大阪営業所として業務開始

11月
- すずめの戸締まりタイアップ企画「日本の戸締まりプロジェクト」参画決定

など

講演のようす

参加者の皆さん

営業課レポート

2022産直フォーラム開催 意見交換で産地直結の絆を深めました

11月5日（土）、ホテルモナーク鳥取にて、ＣＯＯＰ牛乳産直交流協会が主催する「2022産直フォーラム」が開催されました。

同会は、生協牛乳・牛肉の普及・産直交流に関わる８つの団体で構成され、フォーラムには各団体の理事、役職員総勢51名が参加し交流を深めました。

コロナ禍の影響で3年ぶりの開催となった今年のテーマは「産直の歴史を知り、新たな産直活動」。鯰江会長（京都生協常務理事）による開会挨拶から始まり、1部の基調講演では、当組合3代目組合長の中原正氏が「産直牛乳と産直に携わった人達の記憶」と題し、産直のはじまりから、これまでの取り組みについて講演されました。続いて株式会社ナカムラファームの中村賢三さんより、現在の酪農の現状、当組合平野専務より、直近の取り組みやＳＮＳを活用したブランディングの報告がありました。2部の分散討議では、今後の産直活動について意見交換をし、絆を深められる有意義な時間となりました。

受賞した白バラプレミアムアイス３品

授賞式のようす

営業課レポート

県主催特産品コンクールで 白バラプレミアムアイスが部門最優秀賞

この度、鳥取県が主催する「食のみやこ鳥取県」特産品コンクールが開催され、当組合から出品した白バラプレミアムアイス ミルク、いちご、ブルーベリー＆クリームチーズの3品が、菓子・パン部門にて最優秀賞を受賞致しました。

同コンクールは、鳥取県産の農林水産物を主原料とした加工食品、又は鳥取県産農林水産物の特徴を活かした加工食品の中から優れた新商品を表彰・PRすることで、新商品の販路拡大と開発を促し「食のみやこ鳥取県」にふさわしい加工食品の充実を図ることを目的に開催されております。

11月9日（水）に行われた授賞式では、平井知事より、大山牧場から白バラプレミアムへブランド変更をされ、今までにない3層アイスを開発されとてもおいしかったと感想をいただきました。

受賞商品は4月より発売をしており、他のプレミアムシリーズと共にギフトセットでの販売も行っております。皆様もぜひお試しください。

販売された手作りスイーツ

行列もできるほど盛況でした

営業課レポート

大山まきばみるくの里みるく工房にて限定出店「白バラミルクラボ」

11月12日（土）、13日（日）に大山まきばみるくの里みるく工房にて、自家製原料を使用した出来立てスイーツを販売する「白バラミルクラボ」を限定オープンしました。

この取り組みは当組合直売所を通して牛乳、乳製品の美味しさをより知って頂くとともに、施設を楽しんで頂く事を目的とした限定出店となります。

当日は、牛乳、クリームチーズを原料とした、ここでしか食べられないシュークリームやプリン、チーズケーキなどの出来立てスイーツの販売と現地で製造風景を見て頂けるライブ感や焼き立ての香りを楽しんで頂けるような販売スタイルを意識し、テイクアウトのみで販売を行いました。

初めての取り組みで、企画から準備、製造までなにもかもが手探りでしたが、初日は天候にも恵まれ一時は行列ができるほどの来店もあり、製造風景も興味深そうに見て頂けるお客様も多く感じました。

大自然の中で食べるソフトクリームも絶品ですが、今後は直売所においても見て買って楽しんで頂ける施設を目指して、今回の販売検証と改善を行い、次回に繋げたいと考えております。

おいしくＳＤＧｓ！
クリーム巻き巻き
～広島牡蠣 to 彩りカレー～

カルシウムたっぷり
焼おにぎり

カルボナーラ風
濃厚雲ドリア

鳥取県牛乳普及協会レポート

令和４年度牛乳・乳製品料理コンクール中国大会結果報告

11月19日（土）岡山県学校給食会学校給食総合センター（岡山県岡山市）にて令和4年度中国地区牛乳・乳製品料理コンクールが開催されました。

同コンクールは、牛乳・乳製品の知識普及と消費促進に資することを目的としており、中国5県から９名が参加しました。

審査の結果、最優秀賞には広島県代表 原さんが考案した「おいしくＳＤＧｓ！クリーム巻き巻き～広島牡蠣ｔｏ彩りカレー～」が選ばれました。また、優秀賞には島根県代表 伊藤さんの「カルシウムたっぷり焼おにぎり」と岡山県代表 福田さんの「カルボナーラ風濃厚雲ドリア」の2レシピが選ばれました。

鳥取県から出場した中野さん、山根さんは優良賞を受賞されました。

今回中国大会に出場した皆さんは県大会を終え、中国大会までの限られた期間でさらに改良を重ね、どのレシピも味と見栄えに工夫を凝らした力作が揃いました。

平井知事に要請書を手渡す小前組合長

要請のようす

組合レポート

酪農危機をうけ消費者団体と生産者団体が平井知事へ共同要請

11月25日（金）、飼料価格高騰や生産資材高騰に苦しむ鳥取県内の生産者団体と県内外の消費者団体が平井知事を訪問し生産者支援を要請しました。

生産者を代表して、大山乳業農協、鳥取県畜産農協、鳥取県酪農民連合会の代表と「産直」の取り組みを行っている鳥取県生協、京都生協、コープしがの代表が要請に参加し、生産者支援と併せ全国知事会長でもある知事に生産者の所得補償などを確立するよう国に働きかけを求めました。

平井知事は「問題意識は共通のもので、議会とも対策を協議する。産地としても頑張っていきたい」と前向きな言葉と共に、持続可能な酪農経営の実現の重要性についても心強い言葉を頂きました。

参加した生協の代表者は「大山乳業は安心安全と高品質を望む組合員に真摯に向き合って頂いている。消費者としても買い支える努力をしていきたい。生産者が引き続き安心して事業を継続できるような支援を」と平井知事へ協力を求めました。

総合企画課レポート

白バラ牛乳、白バラコーヒー広報欄で映画『すずめの戸締まり』を応援

11月11日（金）より全国ロードショーが始まった、映画『すずめの戸締まり』を応援する取り組みとして、白バラ牛乳1000mlと白バラコーヒー1000mlの広報欄で映画のＰＲを行います。

映画応援デザインが入った広報欄は白バラ牛乳は12月末、白バラコーヒーは12月中旬出荷分の製品に掲載する予定です。

映画応援デザイン入りパッケージ

総合企画課レポート

鳥取県生協協同組合のフードドライブ事業に協力しました

11月1日（火）、職員の皆さんから提供いただいた食品をフードドライブの活動に取り組む鳥取県生協様へ提供しました。

フードドライブは、各家庭で使いきれない食品を持ち寄り、それらをまとめてフードバンクなどに寄贈する活動です。今回集まった食品は、地域の子ども食堂などに寄付されます。今年も多くの食品が集まりました。ご協力ありがとうございました。

受け渡しのようす

組合員の皆さんへの情報掲示板

指導課通信

今月のトピックス

- サシバエ対策について
- 暑熱対策の取り組み報告
- 異動職員紹介
- 年末年始業務日程について

10月号より各地区で今年度の暑熱対策の取り組みをご紹介してきましたが、今年度最後に西部地区での取り組みを2点ご紹介いたします。

サシバエ対策について（米子）

○はじめに

今年度より西部農業改良普及所に配属となりました飯田と申します。大学を出たばかりで畜産の知識技術ともに未熟ですが、この度A牧場にて勉強の機会を作っていただき、暑熱対策の一環としてサシバエ対策に取り組みました。その内容をこの場を借りてご紹介させていただきます。

○サシバエ対策の取組について

サシバエは例年夏に差し掛かると飛来し始め、牛へのストレスで生産性を低下させるほか、疾病の媒介等、酪農経営に悪影響を与えます。現場では、忙しい中コストや労力をかけたかいもなくハエの数が減らないといった声も多くあり、より効率的で効果的なサシバエ対策が望まれています。

今回サシバエ対策を一緒に取り組ませていただいたA牧場では、過去にサシバエ対策としてサシバエネット設置に取り組みましたが、施工上の問題で対策は上手くいきませんでした。そこで今回、ネット以外の手法としてIGR剤であるサイクラーテを用いたサシバエ対策に取り組むこととなりました。サイクラーテは幼虫期間での経口摂食と接触から蛹に対し羽化抑制効果を発揮する、昆虫に特有なホルモン機能を有する製品です。

対策のスタートが遅れるとハエの数が爆発的に増加するということで、6月下旬にサシバエの幼虫、蛹の発生源探しを日本全薬工業株式会社の職員と共に行いました。畜主からは、今まで薬剤を撒いていない箇所にも発生源が多々見つかり、意外な結果であったというコメントが得られました。（写真1）

この結果より、適切な使用箇所、使用量、期間が提示されました。A牧場ではフリーバーンの育成牛舎の飼槽前通路と、ベッドの乾きにくい箇所に、定期的に散布するようにしました。堆肥舎については、フリーバーン牛舎で薬剤散布された糞を堆肥舎に運ぶため行いませんでした。

散布方法としては水に溶かした薬剤を、ジョウロを用いて散布します。

（写真1）

（蛹と幼虫の写真）

水に溶かすことで牛床に薬剤がよく染み込み、作業効率が高まります。

1回に約1kg使用して、作業時間は30分前後です。これを蛹の越冬を防ぐために11月半ばまで、22週繰り返します。（費用は20kgで4万円前後）

またその際に散布箇所以外で、新たに発生源となりうる場所を掘り、幼虫・蛹は減少しているのか調査を行いました。

（散布の様子）

○実施結果

サイクラーテの効果は盆前までは順調であると思われましたが、8月中旬あたりを境に発生量が激増しました。ハエのサイクルが活発化する真夏に差し掛かると、ひとつでも発生源を防げていない場合はそこから一気にサシバエの繁殖が広がってしまうのではないかと思われます。

○今後

A牧場では来年もサイクラーテを散布予定であるため、来年こそはより効果的な散布が行えるよう対策方法を検討していきたいです。

暑熱対策の取り組み報告（日野）

1　はじめに

令和3年に暑熱対策プロジェクトチームが立ち上げられ、令和3年5月号の「酪農だより」では牛舎屋根への遮熱塗料の有効性が示され、同8月号では一重屋根と二重屋根の牛舎温度を比較したところ、二重屋根の方が最大1.5℃低くなったことが報告されました。

管内に既に二重屋根の工事をしており、昨年の秋に、別の屋根に遮熱塗料を塗布された酪農家がありましたので、遮熱塗料と二重屋根の遮熱効果について比較調査を実施しました。

2　調査の概要

二重屋根はガルバリウム鋼板のもの間に断熱材を入れた構造で、パーラーの屋根に設置しております。遮熱塗料はフリーストール牛舎の屋根に塗布されております。

舎内の温度について、令和4年7月1日から令和4年8月31日までの期間に、地面から約2.5ｍの高さに「おんどとり」を設置し、1時間ごとの温度を記録しました。調査期間62日のうち、日照時間の多い上位20日の平均と少ない下位20日の平均気温を比較しました。なお、日照時間は気象庁の米子と日南町茶屋におけるアメダスデータの平均値を用いました。また、晴天時に屋根をサーモグラフィカメラ（以下：サーモカメラ）で撮影し表面温度を調査しました。

3　結果

日照時間の少ない日は、舎内の温度差はほとんどありませんでしたが、二重屋根のパーラーでは朝夕の搾乳時に搾乳牛の体温で一時的に舎内温度が上昇しました（図1）。一方、日照時間の多い日は14時から差が出始め17時時点で遮熱塗料の方が1.4℃低い結果となりました（図2）。

サーモカメラによる屋根の表面温度は遮熱塗料の方が5.3℃低く、牛舎内温度と同様に遮熱塗料の方が優れた結果となりました。

これらのことから、遮熱塗料を塗布した屋根は二重屋根に比べ、表面温度が上昇しづらく、午後に舎内温度が早く下がり、暑熱対策として優れていると推察されました。

4　農家への提案

これらの結果を調査した酪農家に報告し、二重屋根にも遮熱塗料（又はドロマイト）を塗布することと、搾乳時のパーラーの舎内温度が搾乳牛の体温の影響を受けて上昇するため、換気扇の追加を提案しました。

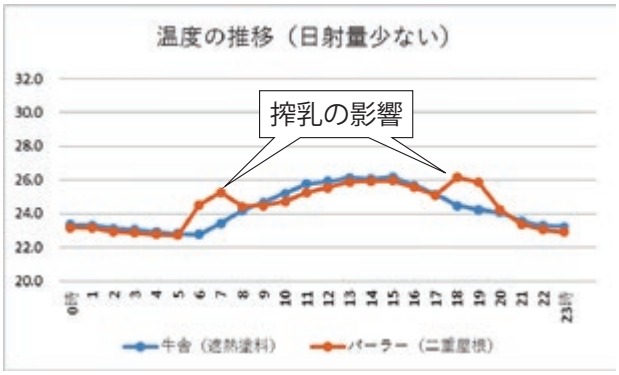


図1　日射量の少ない20日間の平均温度

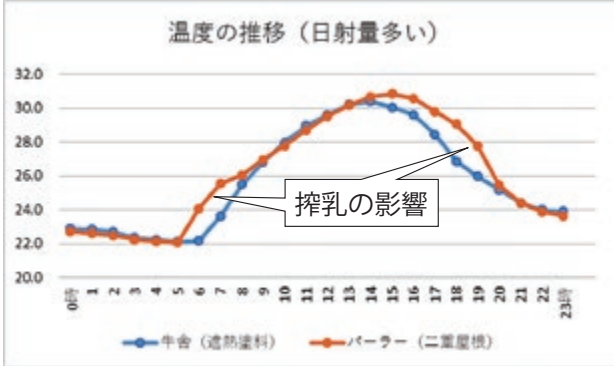
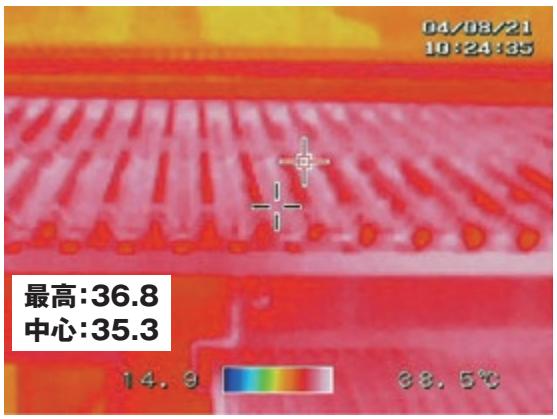


図2　日射量の多い20日間の平均温度

二重屋根の外観

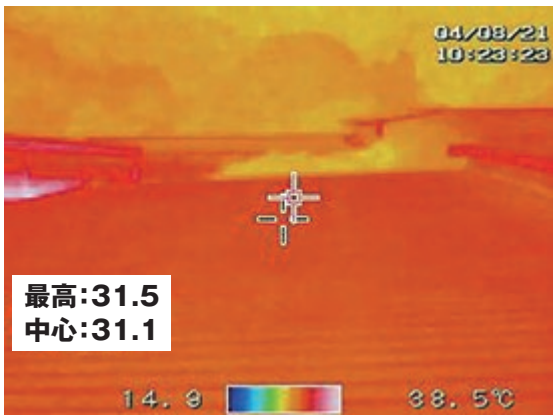
遮熱塗料を塗布した屋根



二重屋根のサーモカメラの画像

最高温度
5.3度低い

中心温度
4.2度低い



遮熱塗料を塗布した屋根のサーモカメラの画像

5 終わりに

今回の調査で遮熱塗料の方が優れた結果となりましたが、遮熱塗料は5年程度経過すると汚れ等が付着し、その効果が低下したため洗浄が必要となった事例もあります。一方、二重屋根は洗浄等が不要で冬季の保温効果も期待できますので、今後暑熱対策を行われる方はそれぞれのメリット・デメリットを理解した上で施工してください。

異動職員紹介

森　由香里

総務課から酪農課に異動になりました森 由香里と申します。

最初のうちはご迷惑をおかけする場面もあるかもしれませんが、一日も早く戦力になれるよう精進いたします。ご指導・ご鞭撻のほど、何卒よろしくお願いいたします。

年末年始の酪農課業務日程について

年末年始の酪農課の業務は下記の通り計画しておりますので何卒よろしくお願い致します。

期　日	業務内容
12月29日(木)	通常業務
12月30日(金)	朝一棚卸終了後、通常勤務
12月31日(土)	酪農課:半日勤務 (12時まで業務致します) ※配達は致しませんので ご了承ください。 指導課:休み
1月1日(日)	正月休日
1月2日(月)	正月休日
1月3日(火)	正月休日
1月4日(水)	通常業務

お知らせ

下記日程にて棚卸業務の為、飼料倉庫・乾草倉庫及び薬品の出荷業務が出来ません。組合員の皆様にはご迷惑をお掛けしますが、宜しくお願いいたします。

令和4年12月30日(金)
午前中

棚卸業務の為、出荷出来ません。午後から通常の出荷業務となります。

お知らせ

大山乳業	0858-52-2211
山本部長	090-4691-3789
中村課長	080-2944-2271

品質管理通信
おしえて!!ヨーコさん
意外と知らない身近な「品質管理」

第20回 変化の2022年

この間まで暑い、暑いと言っていたのに、あっという間に12月になってしまいました。年々1年が過ぎるのが早く感じてしまいます。私の隣の席で品質管理部の部長も同じことを言っています。

さて、ここ2・3年はみなさんコロナに振り回されて、なかなか今まで通りの生活ができなかったのではないでしょうか。特に今年は鳥取県でもコロナが猛威を振るい、感染者もこれまでよりも多くでました。学校、職場、もちろんご家庭でも対応に苦慮されたことと思います。

そんな状況ではありましたが、大山乳業では工場見学が再開したり、これまで中止していたイベントが少しずつですが開催されたり、オンラインでのイベントが充実してきたりと、コロナ禍の中でも変化のある年となりました。また今年はホームページもリニューアルされ、私たち品質管理部の仕事もクローズアップされたことで、みなさんへどんな仕事をしているか知っていただく機会が増えてよかったなと思っています。

これからさらに寒くなります。コロナのおかげで上達した手洗いをしっかりして、元気によいお年をお迎えください。

JA鳥取県人権・同和問題対策推進本部からのお知らせ

ＪＡグループ鳥取では人権・同和問題に対して、令和3年度より「第8次（2021～2023年度）ＪＡ鳥取県人権・同和問題対策推進方針」をもとに、差別と偏見のない社会の実現のために取り組んでいきます。

組合員の方はもとより、地域住民の方にも人権・同和問題が身近な存在であることに気づいてもらうため、第8次期間中（2021～2023年度）も引き続き、人権・同和問題に対する啓発記事を年4回連載します。

第29回「さまざまなハラスメントについて」

ハラスメントとは他者に対する「嫌がらせ」のことで、地位や権力などを背景に相手に嫌がらせを行うパワハラ（パワーハラスメント）や男女問わず性的な嫌がらせを行うセクハラ（セクシャルハラスメント）など様々な種類のハラスメントがあります。

ハラスメントは行う方がわざとでも無意識でも関係がないため、たとえそのつもりがない場合でも相手を傷つける行為、苦痛を与える行為、不利益を与える行為などはハラスメントに該当します。

パワハラ、セクハラ以外にもさまざまなハラスメントが存在します。

セクハラやパワハラを受けた被害者がその事実を訴えることで、逆に会社側から圧力などの二次的被害を受けるセカハラ（セカンドハラスメント）や、肉体的ではなく、言葉や態度等によって精神的に継続的な嫌がらせを行うモラハラ（モラルハラスメント）、本人の体質や体調・意向を無視して飲酒を強要する、アルハラ（アルコールハラスメント）、職場において、妊娠、出産に伴う就業制限や育児休暇により業務上の支障をきたすという理由で精神的・肉体的嫌がらせを行うマタハラ（マタニティハラスメント）などがあります。

また最近では、セクハラとは異なり、〝一般的〟な「男らしさ」「女らしさ」の物差しから外れた行動を非難し、「男らしさ」「女らしさ」を強要するジェンダーハラスメントがあります。

ハラスメントについて一人一人がしっかりと理解し、それぞれの人権が大切にされた誰もが働きやすい職場を目指しましょう。

私のオススメ

みなさんこんにちは。製品開発センターの池信です。私のおすすめは「白バラのシュトーレン」です。

以前、菓子の担当をしていた時に開発に携わった製品で、何度も試作し食べ過ぎたために、しばらく食べる気持ちになれないでいたのですが、今年のリニューアルで中に入っているフルーツの種類が変わったということで食べてみたところ、とってもおいしくなっていました！

大山バターや様々なドライフルーツ、ラム酒、スパイスを使っており、ひとくちでいろいろな味が楽しめるケーキです。私はココアと一緒に食べるのが好きです。

一度お試しいただけると嬉しいです！

ココアと一緒にいかがですか？

大山乳業農業協同組合 からのお知らせ
Dainyu Information

理事会だより
理事会にて次の議案が決議されました

11月19日提出議案

第1号議案	10月末経営検討について
第2号議案	令和5年度部門別計画について
第3号議案	酪農指導部関係、規程等の一部変更について
第4号議案	固定資産の取得について
第5号議案	理事会・委員会の出席旅費改訂について
第6号議案	旧鳥取支所、借地返還に伴う追加工事について

直売所カウィーのみるく館からのお知らせ
年始初売りはみるく館へご来店ください!!

1月3日(火) 10:00スタート

新年初売り目玉商品は

数量限定 お買い得福袋

数量限定で、大変お得な福袋を販売します。
ぜひみるく館の初売りにお越しください！

フリーダイヤル
12月31日(土) ～1月3日(火)まで
フリーダイヤルを休業いたします
※1月4日(水)より通常営業いたします

年末年始の直売所・お問合せ窓口営業日について
各業務につきまして年末年始休業日のお知らせです

カウィーのみるく館

12月31日(土)	1月1日(日)	1月2日(月)	1月3日(火)
PMより休業 14:00まで営業	休業	休業	営業 10:00から営業

※1月3日(火)は営業時間が10：00～17：00となります。ご注意ください。

公式オンラインストア
12月28日(水) ～1月3日(火)まで
お問合せ、受注メールの返信業務を休業いたします。
※この期間中もご注文は随時受け付けております
※詳しくはオンラインストアをご覧ください

工場見学
12月30日(金)午後～1月5日(木)まで
工場見学案内を休業いたします
※お電話受付、お問合せは12月31日(土)～1月3日(火)の間休業いたします

ホームページお問合せフォーム
12月31日(土) ～1月3日(火)まで
お問合せ対応業務を休業いたします
※休業中もお問合せの送信は可能です
※休業中のお問合せは1月4日(水)より順次対応いたします

ホームページからのお声

■いつもありがとうございます!!これからも飲み続けます。特に寒い時期はホットミルクが身体に沁みます。牛乳を飲んで健康な毎日を過ごします！
（埼玉県）

■祖母の家に行くたびに小さい頃から白バラ牛乳を飲み、現在は大学生協に商品が並んでいるのでよく飲んでいます。飲むたびに幼い頃何度もおかわりしていた頃を思い出し、懐かしく思っています。
（兵庫県）

■父がお土産でカフェオレを買ってきてくれるのがうれしくて思い出と共においしい気持ちになります。
（岡山県）

■家族が大好きでスーパーでフェア等やっている時はヨーグルトや白バラコーヒー、シュークリームを沢山買ってきて取り合いになっています。
（東京都）

■いつも美味しいものを提供して下さって有難うございます。鳥取県民として誇りです。これからもよろしくお願いします。
（鳥取県）

■鳥取県に毎年行くようになってから工場見学がコロナで中止されていて本当に念願の工場見学でした。沢山の牛乳達が詰められるところは圧巻でした。白バラコーヒーが大好きなので行くことができてよかったです。
（静岡県）

Dainyu-PICKUP！

令和４年度 鳥取県労働基準協会 無事故永年勤続者表彰が行われました

この度、大山乳業農協が会員となっている一般社団法人鳥取県労働基準協会より販売部の上山審査役、九州駐在の草場調査役、物流課の竹中係長の3名が「無事故永年勤続者表彰」を受けました。

この表彰は、同一事業所に１５年以上無事故で勤務し、かつ他の模範となる勤務優秀者を対象に表彰されるものです。本年も鳥取県産業安全衛生大会が中止となり、受賞者3名は小前組合長より表彰を授与されました。皆さんも年末に向け、より一層労働安全の意識を持ち、組合内の無事故・無災害を目指し日々の業務に取り組みましょう。

写真左より竹中係長、上山審査役

Dainyu-PICKUP！

令和４年度牛乳等 衛生功労者表彰　製造部 竹歳審議役受賞

１１月１８日（金）、一般社団法人日本乳業協会と厚労省による令和4年度牛乳等衛生功労者表彰式がホテルメトロポリタンエドモにて開催されました。

この表彰は牛乳・乳製品の衛生・品質向上に貢献してきた業界関係者を表彰するもので、今年度は厚労大臣表彰・日本乳業協会会長表彰など20名が受賞し、当組合製造部の竹歳審議役は牛乳等衛生功労会長表彰を受けました。

日本乳業協会の宮原会長は受賞者へ「功績を活かし、後進の指導・育成への尽力をお願いしたい」と言葉を贈られました。

表彰式のようす

編集後記

あっという間に年末がやってきました。改めて1年を振り返ると沢山の出来事がありましたが、コロナに負けず新しい取り組みや中止していた活動が再開されるなど明るい話題も多い1年でした。皆様、来年もよろしくお願いいたします。

組合情報発信中です!!

twitter　Facebook　Instagram

YouTube　組合公式通販サイト　白バラのチーズ紹介ページ

酪農だよりに関するご意見ご感想は大山乳業農協お問合せフォームからお寄せください
QR コードからもメールアドレスを取得できます▶

あの日・あの時

大山乳業「酪農だより」バックナンバーから当時の様子を覗いてみます

今回ご紹介するのは平成元年１０月発行の「酪農だより第３３３号」より、鳥取県畜産共進会のようすです。記事には計３８頭が出品され、審査報告では改良の成果が向上していることへの評価と、今後の改良と飼育管理に期待する声が寄せられています。写真は共進会で開催された若手経営者からみた畜産の意見交換会のもようです。

酪農だより vol.731

発行責任者／小前孝夫　　編集責任者／平野　浩
印刷所／山本印刷株式会社　発行日／令和４年１２月２０日

大山乳業農業協同組合
〒689-2393 鳥取県東伯郡琴浦町保 37-1
TEL.0858-52-2211(代) FAX.0858-53-1501
https://dainyu.or.jp　E-mail:email@dainyu.or.jp